

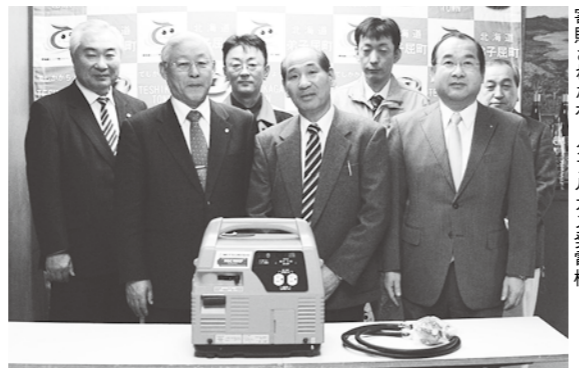
# 災害に備えて防災備蓄品を整備

## 防災ワンポイントコーナー

町では、災害に備えて防災機材や食料・飲料などの備蓄を進めています。町内外の関係機関からの協力を受けて、暴風雪災害に備えた暖房機材の備蓄も進めています。

昨年12月11日には、一般社団法人北海道LPガス協会釧路支部弟子屈分会(上村保範分会長)から、ポータブルガス発電機1機の寄贈を受けました。同協会とは2010年11月、被災場所でLPガスの応急復旧や設備工事を行うなどの内容で「災害発生時における応急・復旧活動の支援に関する協定」を締結。2012年12月から2014年12月までに、カセットガストーブ100台、ハイカロリーコンロ5台の寄贈を受けています。

今回、寄贈されたのは、重さ約20キロと持ち運びが容易で、LPガスさえあればどこでも発電ができるもの。一般家庭で通常、使用している電気が発電できることから、会館など小規模な避難所などでの非常用電源に適しています。



### 町の備蓄状況

町では毎年、備蓄品の更新を行っています。必要な数量には、まだ達していませんが、地域の拠点となる指定避難所などには、今後も順次、備蓄品を配備していきます。

町内の指定避難所にある代表的な備蓄品は、下の表のとおりです。

場所	役場	備蓄倉庫	弟子屈小学校	弟子屈中学校	泉ふれあいセンター	摩周観光文化センター	道の駅 摩周温泉	川湯消防支署	川湯小学校	川湯中学校	美留和小学校	屈斜路研修センター	旧昭栄小学校	奥春別交流センター	こども館(4カ所)	硫黄山レストハウス	計
発電機(固定)	1		1														2
発電機(可搬)		4															4
ガス発電機	1																1
カセットガストーブ	49					3	40								2 (×4)		100
ハイカロリーコンロ		5															5
段ボールベッド		80	10		10												100
毛布		91	210		50	70	30	50	150	40	50	50	50	50	10 (×4)		931
ヘルメット	50															30	80
保存水	○	○	○		○	○		○	○	○		○		○			
保存水袋		○															
非常食(アルファ米)	○	○	○		○	○		○	○	○		○		○			
保存パン		○															
白米				○													

※ほぼ固定的に配置している物は実数、数が変動するものは○で示しています。

問い合わせ先/役場総務課情報防災係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 2 (課直通)

# エコの すすめ

小さなことからコツコツと！環境に配慮した行動の積み重ねが地球や家庭の「エコ」につながります。

「エコ」って…？

元々は「エコロジー」からきている和製英語です。エコロジーには生態学という意味があり、そこから「生態・環境に配慮した行動・活動」を行う際に使われるようになりました。



## どんな物に生まれ変わるの？資源ごみ「びん」の行方

日頃から皆さんにご協力いただいている資源ごみへの分別。収集された資源ごみは処理場へ運ばれた後、どのように処理され、どのような物に生まれ変わのでしょうか。今回は、昨年4月から混合収集(色ごとの仕分けなし)を始めた「びん」について、ご紹介します。



### びん再生まで

- ① 収集・処理場への搬入
- ↓
- ② 処理場で色ごとに分別
- ↓
- ③ 原料化業者へ引き渡し
- ↓
- ④ 原料化(カレット化)
- ↓
- ⑤ 製造業者へ引き渡し
- ↓
- ⑥ 再商品化

### 弟子屈町から出たびんが生まれ変わる物は？

原料化された後、無色のびんは無色のびんへ、茶色のびんは茶色のびんへ、その他の色のびんは、路床(地面を削って地ならしをした地盤)、路盤(道路や線路の基盤となる地盤)、土地改良用骨材として生まれ変わっています。(2014年度現在)

### その他にびんが生まれ変わる物

その他の色のびん・グラスウール(ガラス繊維でできた綿状の素材)・防犯砂利・ビー玉・おはじき・ビーズ・光を反射するアスファルト用舗装用骨材・カラー舗装用骨材・コンクリート骨材・路床・路盤・土地改良用骨材 など。

※処理場では、びんを色別に分けて保管しています。処理場に直接、搬入される場合は、他の色のびんが混入しないようご注意ください。

問い合わせ先/役場環境生活課環境係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 4 (課直通)

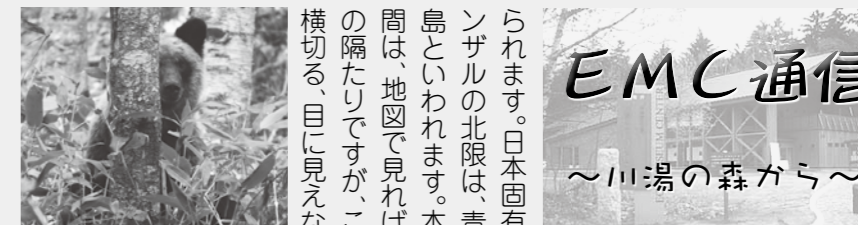
## アイヌの 自然視 カムイ・パイカイ・ノカ

### 神の歩いた跡



冬の屈斜路湖が皆さんから注目を浴びるのは、全面結氷後に見られる可能性がある氷の盛り上がりです。大きいものでは高さが1メートル以上、長さは数キロに及ぶこともあるようです。

氷は寒暖の差で伸縮を繰り返します。裂けたり、きしんだりする際に音を発しますが、これをアイヌの人たちは「湖の神が遊んで歩く音」といい、湖の氷が盛り上がった様子を「神の歩いた跡」と表現しました。どちらも、人間の力が及ばない自然現象です。



ヒグマは北海道を代表する動物です。今年のは見られるでしょうか

## ボーダーレスが歓迎されない自然界

国内に生息しているクマといっても、本州にいるのはツキノワグマで、北海道にいるのはヒグマです。ツキノワグマとヒグマの間には英語名を持つシマフクロウ。国内では北海道だけに生息しています。近年、問題となっている外来種とは、外国から持ち込まれて自然繁殖するようになり、在来種の生態系を脅かす恐れがあるとされるものです。日本では、もとも国内に存在していても、プラキストン線を越えて道内にやってきたものは「国内外来種」と呼ばれます。その代表例がカブトムシです。

来月末には本州から北海道に新幹線が上陸し、1本の線で結ばれるわけですが、自然界にとって境目がなくなることは脅威なのです。

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎ 4 8 3 - 4 1 0 0

URL [http://www6.marimo.or.jp/k\\_emc/](http://www6.marimo.or.jp/k_emc/) 2月 9:00~16:00開館(水曜日休館)